

パスワードの管理

2022年8月
レベルアップ担当
坂口

1 レベルアップ 8月担当の坂口です。

パスワードのいろいろ

- ID
 - アカウント
 - パスワード
 - 秘密の質問&答え
 - 本人確認の答え
- 管理
- たらいまわし ×
おなじPWを使い続ける ×

頭の中ですべて記憶に越したことはありませんが『たらいまわし』『同じパスワードを使い続ける』・・・ダメなのはわかっていますが定期的に変更する・・・というのも現実にはなかなか難しいものです。

端末はすべて知っている

Windows・Mac・Iphone



パソコンやスマホにはパスワード記録場所がある

- ①パスワードを管理している場所、注意点
- ②Vault (ポルト) とは

パスワード記録場所の確認

スタート → 設定 → 設定の検索窓に『資格』と入力 → 『資格情報マネージャー』を選択

パスワードを保存することを『資格情報』といいます

『資格情報』の場合はコピーすることができない

坂口の場合 OneDrive を使用しないようにしているため、リカバリしたせいなのか『web 資格情報』『Windows 資格情報』とも表示されません (原因??)

坂口の場合：OneDrive を使用しないようにしているため、リカバリしたせいなのか『web 資格情報』『Windows 資格情報』とも表示されません (原因??)



5

パソコンにパスワードを記録させること
パスワードの変更は上書きで済むので必ず削除してから再設定すること。

ブラウザから確認することも出来ます Edge、Google chromeからもOK



Edge → 設定など (右上) → 設定 → 坂口の場合：『資格情報』からは表示できなかったが Edge からは確認することができた。Edge の場合はメモ帳でコピーすることができるので一覧を紙にコピーして保存することができる。

Google chromeの場合

chrome → 設定 (右上) → 自動入力 → パスワードマネージャー → 保存したパスワード → 目のマーク

chrome → 設定 (右上) → 自動入力 → パスワードマネージャー → 保存したパスワード → 目のマーク → PINコード
パスワードを保存出来るようにするを ON にしておく。

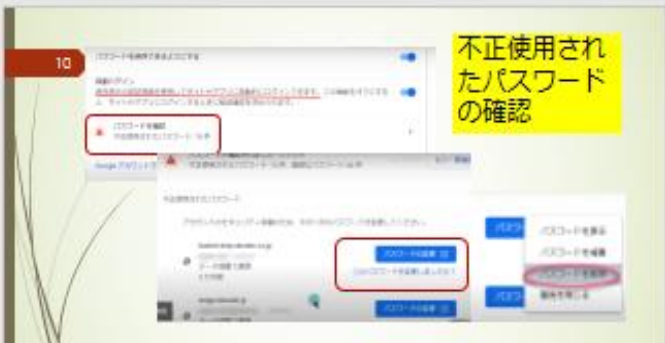


8 PIN の設定は必ず設定しておきましょう

ファイルとして保存します。



メモ帳は Windows のアクセサリの中にあります。メモ帳には書き足しがいろいろできるので自分なりに 例：web系、ショッピング系、etc・・・とわかりやすく編集しておけばいいでしょう。ファイル名◎例) パスワード



10 設定 → 自動入力 → パスワード → パスワードの確認 (坂口の場合は不正使用された形跡なし)
 ※ 赤字のマークがあれば不正使用された可能性あり



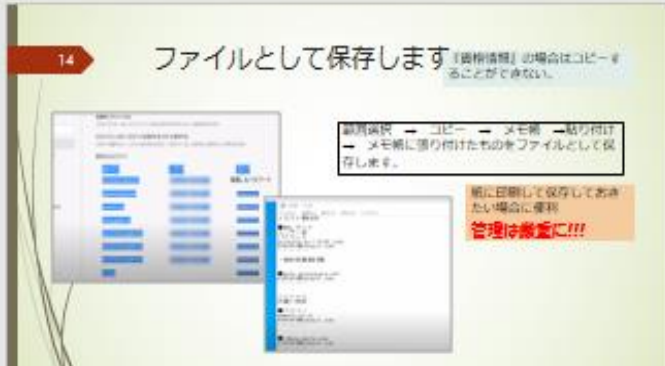
11 Edge場合
 赤字の表示があれば必ず確認しましょう (坂口の場合) 脆弱なパスワード数十件ありました。不正使用されたパスワードでログインした場合はchromeで通知します。



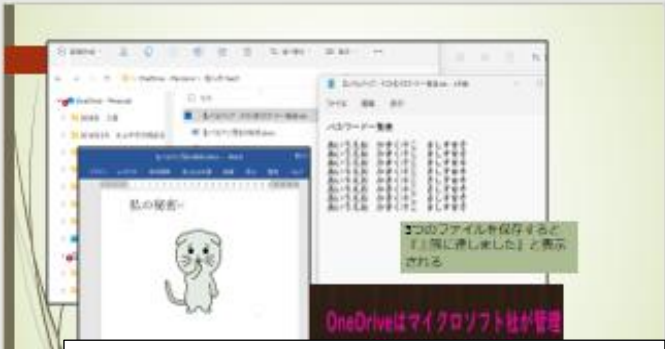
12 個人用Vault (ボルト) とは
 Microsoftアカウントを無料で取得すると必ず取得できるOneDriveの中に用意されている機能で『Microsoftアカウント』でどこからでもログインできる (パソコンが壊れてもweb上に保存されている)
 無料のアカウントでは3つまで保存できる。
 お試しで保存してみる
 ①パスワード一覧 (メモ帳)
 ②私の秘密 (Word)



13 メモ帳で保存したファイル (パスワード一覧のコピー) を個人用Vaultに保存
 アカウントでログインすればどこからでも開くことができる (別のPCからでも開くことができる) もし使用中のパソコンが壊れた場合、別のパソコンからでも開くことができます。設定によりメールやスマホに送信されたパスコードの入力を要求してくる



14 Vault (金庫) の扉が開いたらドラッグする。紙に印刷して保存しておきたい場合に便利 管理は厳重に!!!



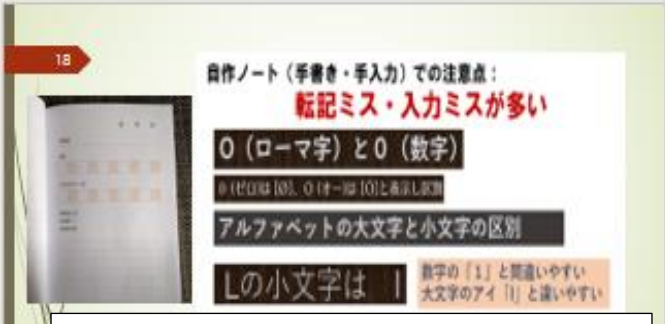
15 3つまで保存できる。(無料の場合) 当然ですが試しに別のパソコンから個人用Vault(金庫)を開くと同じ内容で保管できていることが確認できました。



16 Chromeからパスワード一覧



17



18 自作のノート (手書き・手入力) で作成すると転記ミス、入力ミスが多いのできをつけましょう。